

## 消費者

# 5月は消費者月間です 「行動しよう消費者の未来へ」

私たちは日々の生活で、消費（買い物）を繰り返し行っています。みなさんは買い物をする時、価格・品質・安全性の3つを主な基準としているかと思えます。今回は『倫理的消費』（エシカル消費）という第4の消費判断の基準を紹介します。

倫理的消費とは、「より良い社会に向けて、地域の活性化や雇用なども含む、人や社会・環境に配慮した消費行動」と定義されています。言い換えると、「それぞれの消費者が、今ある社会問題に取り組んでいる事業者を応援し、消費活動を行うこと」です。

例えば、①人への配慮…障害のある人が作った商品を買う、障害のある人を雇用する企業の商品を選ぶ  
②社会への配慮…フェアトレード（発展途上国で作られた作物や製品を適正な価格で継続的に取引する）商品や寄付つきの商品を買う  
③環境への配慮…エコ商品・リサイクル製品を買う  
④地域への配慮…地産地消や被災地産品を買う、が挙げられます。

なぜ、倫理的な基準が必要なのでしょう。実は、私たち消費者は、日々の買い物を通して、社会に影響

を与える力を持っています。日本の国内総生産（2015年…約499兆円）の約6割（約285兆円）は個人による消費です。つまり、消費者が人や環境に配慮した商品やサービスを優先して選ぶようになれば、企業は環境や人に配慮した商品の生産や流通を意識するようになります。個人消費が大きい分、今後ますます影響を与えることになるでしょう。

毎年5月は消費者月間です。今年のテーマは『行動しよう 消費者の未来へ』。将来のより良い社会に向けた消費者の行動が重要となります。これを機会に、みなさんも倫理的消費を試してみませんか。



### ■問い合わせ

消費者センター（☎8299・1234）